

令和4年度宮城県多文化共生アンケート調査の概要

1 調査の目的

本県の多文化共生に関する現状分析と課題を整理するため、県民（18歳以上の日本人県民及び外国人県民）に日常生活での困りごとや、地域での日本人・外国人の関わりについての意識調査を実施し、「宮城県多文化共生社会推進計画」改訂の基礎資料とする。

2 調査の概要

(1) 調査対象者

県内の市町村に住民登録を行っている満18歳以上の 外国人県民 1,900人
 // 日本人県民 1,500人

<調査対象者の抽出方法>

- ・住民基本台帳から無作為抽出
- ・外国人県民については、在留資格ごとに必要数（※）を無作為抽出
 （※必要数：調査対象者1,900人×R3.12月末日現在の在留資格別の構成比で算出）

(2) 調査方法

①配付 郵送

※ 外国人県民には、日本語(ふりがな付き)の調査票のほか、英語・中国語・韓国語・ベトナム語・ネパール語のいずれかの調査票を送付

②回収 郵送及びWEB（県電子申請システム※）を併用

※ 県電子申請システムは多言語対応ではないため、外国人県民用の回答フォームは「やさしい日本語」で作成

(3) 調査期間

令和4年11月28日（月）～12月26日（月）

(4) 回答結果

配布数	回答数	回答率
外国人県民 1,836人	430人(うちWEB回答 66人)	23.42%
日本人県民 1,492人	591人(うちWEB回答 136人)	39.61%

※配布数は、転居先不明等で返戻された調査票を除いた数を計上

3 前回（H29）調査との主な変更点

	平成29年度	令和4年度
調査対象者	満20歳以上の外国人県民 1,890人	満18歳以上の外国人県民 1,900人 日本人県民 1,500人
回収方法	郵送のみ (回収率:21.00%)	郵送及びWEBを併用 (回収率:23.42%)
調査期間	3週間 (12月5日～12月25日)	4週間 (11月28日～12月26日)